

指導案

文責 有田有紀

1 授業名

作業学習「玉ねぎの皮で草木染め製品を作る。」

2 本時の学習

(1) 作業内容：玉ねぎの皮で煮出した染め液で模様をつけた晒（木綿）を染色する。天然みょうばん（アルミニウム）で媒染をすることで白い生地が黄色に染まり模様ができる。生徒たちは、各々で取り組む製品を考え、模様をつけて草木染めを行うことで、生徒の主体的な取り組みの実現を図りながら、製品の試作づくりを行う。本時は導入である。

(2) ねらい：日常生活において入手しやすい玉ねぎの皮を使用して草木染め製品を作るという作業学習を学習の中心にしながら、児童生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習する。

3 単元（題材）の目標

- 作業の手順通りに一人で取り組むことができる。
- 集中して作業に取り組むことができる。
- 時間いっぱい作業に取り組むことができる。
- よい製品を作るという意識をもって丁寧に作業に取り組むことができる。

4 本時

- (1) 日時：2020年11月19日（木）第3校時
- (2) 場所：熊本市立T中学校特別支援 教室
- (3) 対象生徒：3名（1年生2名と2年生1名）
- (4) 準備物：エプロン又は汚れてもいい服装（体操服）、手拭きタオル

5 展開

配時（分）	学習活動（教材・教具）	指導・支援の方法、留意点
00 （導入）	1、準備 長机にはあらかじめ新聞を敷く 玉ねぎの皮を煮出しておく。	新聞紙を敷くこと、道具に不備が無いか製作準備をする。

<p>05 (展開)</p>	<p>2、はじめの挨拶をする。</p> <p>3、目標の確認をする。 ・作る物（製本の種類）を決める。</p>	<p>挨拶と自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より良い製品を丁寧に最後まで仕上げることを動機づけする。 ・個々に製品にしたいものを発問する。「草木染製品で製作したいもの、喜んでもらえそうなものを教えてください。」と問う。 ・選択肢（ハンカチ、手ぬぐい・タオル、スカーフ）を提案する。
<p>10</p>	<p>4、作業開始の合図を聞いて作業を開始する。</p> <p>作業</p> <p>①生地を受け取る。 ②模様をつける。 ③染色をする。 ④媒染をする。 ⑤洗う。 ⑥干す。</p>	<p>作業</p> <p>①生地の裁断を教師が行い、配布する。 ②模様をつける。 輪ゴムを使った絞り染めを指導する。 ③染色をする。 ④媒染をする。 ⑤洗う。 ⑥干す。 干場に濡れた生地を干す。</p>
<p>45 (まとめ)</p>	<p>5、後片付けをする。</p>	<p>使用した道具を洗う。片付ける。</p> <p>製品づくりをする上で工夫した点や自作した製品の良さは何かを問いかける。</p>
<p>50</p>	<p>6、終わりの挨拶をする。</p>	